

4歳児クラス <5月 富嶽三十六景「凱風快晴」(赤富士)>



やさしいK-ART

テーマ《赤富士ワーク》

にほん もっとも し うきよえし かつしかほくさい
日本で最も知られた浮世絵師、葛飾北斎の
『富嶽三十六景 凱風快晴』通称「赤富士」
を描きます。

<テーマを決める>

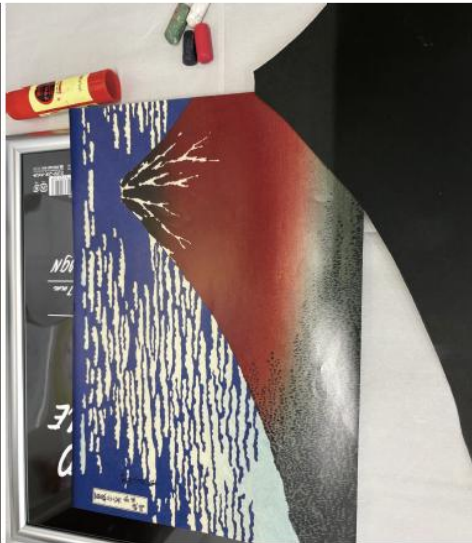
最近、外国からの観光客がとっても増えています。
その外国人観光客の人たちに、日本で最も人気があるのが「富士山」です。
富士山は、日本でも昔から人気の山です。
この赤富士は、葛飾北斎によって約200年も前に描かれた作品です。

<問いを考える>

「葛飾北斎ってどんな絵を描いた人でしょうか？」
「富士山は何色をしている？」
「この雲は何雲でしょうか？」「季節はいつ頃だろう？」
「富士山の上の白い部分は何かな？」
「なぜ赤富士が赤いの？」「この絵の富士山の時間は何時くらいかな？」
「浮世絵ってなに？」

葛飾北斎が赤富士を描いた背景などお話をし、作品の奥にある状況や思い
などを感じながら富士山を描きましょう。

1. フレーム
2. プリント台紙
3. 赤富士パーツ
4. 糊
5. キットパス
(赤、しろ、オリーブまたは緑、
黒、ベージュ使ってもOK)



<環境をデザインする>

「絵の要素をパーツ分けした材料に色付けをしていく」

三原色で学んだお米で作られたキットパスを使って、
葛飾北斎が描いた「赤富士」の模写をしていきます。
絵はフォルムが上手く描けないと途端に他の子たちと
比べて上手・下手という比較をしてしまいます。

きちんとそのフォルムが出せるようにパーツ化をして
いるので、子どもたちの想像を超える作品になるよう
な材料作りをしています。

4歳児クラス <5月 赤富士> 実施報告



5/13 4歳児クラス 《葛飾北斎：赤富士》

赤富士の見本を見せると、「火山?」「描けるかな?」との声があがっていました。赤富士は噴火しているのではなく、実際に赤富士が見られる時があること、富士の麓にある森の木々を黒い点で表現できる、というお話もしっかり聞いてくれました。

作者の名前“葛飾北斎”をみんなで声に出して言ってみてからスタート!

先月行った“側面塗り”で、緑(オリーブ色)、ベージュ、赤を使って表現してみました。赤色はてっぺんまでは塗らないこともしっかり守って塗れました。白のキットパスで雪を描くことにもチャレンジ!

富士山のパーツを背景に貼って自分の作品を額に入れると「今日持って帰れるの?」と喜んでいました。

4歳児クラス < 5月 富嶽三十六景「神奈川沖浪裏」 >



やさしいK-ART

テーマ《神奈川沖浪裏ワーク》

日本でもっとも知られた浮世絵師、葛飾北斎。
ゴッホやモネにも影響を及ぼしました。
今回は空の色にこだわりたい！

< テーマを決める >

日本のお札に描かれている絵ってどんな絵だろう・・・。

10,000円札の裏は、現在は東京駅、5,000円札は藤の花、1,000円札の裏には浮世絵。
この1,000円札に描かれている富嶽三十六景「神奈川沖浪裏」は、「世界で最も有名な絵」と言われるくらい有名で、誰もが知っている葛飾北斎の作品です。

この作品は「静と動」のコントラストで自然の雄大さを描いていると言われます。そのため、遠くに小さくてもどしっと構えている富士山、そして手前に荒々しい波、船と人があることで遠近法で動きのある波はさらに激しく、遠くの富士山はいつも変わらず静かに感じます。

< 問いを考える >

○ 構図に関する問い

「今のお札に描かれている絵って知ってる？」

「この絵は見たことある？」 「この絵を見て感じることは何か？」

「お札以外でどこで見たかな？」

「細かく見ると何が描かれているかな？」 「この小さいものは？」 「波の形はどう感じる？」

○

1. キャンバスボード 1枚
2. 波パーツ 1枚
3. タイトルパーツ 1枚
4. 見本 1枚
5. キットパス (ベージュ、グレー、白)
6. オレンジカップ (水大さじ 1程度)
7. 筆
8. ベビーパウダー
9. ボンド



< 環境をデザインする >

「作品の一部を担うことで作品作りを通じて興味を持たせる」

子どもたちがこの作品を1から全て描いて完成させることは至難の業です。しかし、限られた時間の中で、一部を担うことで作品に興味を持ち、しっかりと観察をして、作品を完成させていくための材料を準備します。今回は「空」の色付けを担い、波や富士山がより際立つようにキットパスで塗っていきます。

「波と富士山と船と人」という細かい部分は貼る。

今回はハサミは使えないので、あらかじめ切っておいたパーツを貼って作品を完成させます。

5歳児クラス <5月 神奈川沖浪裏>



5/13 5歳児クラス 《葛飾北斎：神奈川沖浪裏》

昨年行った"赤富士"をみんな覚えていました！海外でも人気の作品という話しをすると、興味津々。

「絵の中で1番目立つものは？」という問いには「波！」と元気よく答えてくれました。さらに「絵にある富士山はなんで波よりも小さいんだろう？」と聞くと「遠いから？」という答えも。遠くのもの小さく、近くのは大きく見える"遠近法"についても、しっかり感じ取ってくれました。激しい動きの大きな波と、静かにどっしり構えている富士山。

そんな対比の話も真剣に聞いていました。

制作ではキットパスで側面塗りした後、筆に水をつけて横方向に伸ばす技法に挑戦！ポイントをしっかり押さえながら、丁寧に取り組む姿が印象的でした。波の白い部分や富士山の雪、さらに雲や波しぶきも描き込み、それぞれ迫力ある作品に仕上がりました。完成後は「かっこいいなあ〜」と満足そうな顔で記念撮影。それぞれの作品がかっこよく、みんなの作品が並ぶとさらに迫力ができました！